

2021年11月11日

サステナブルな社会の実現と「建てる」の変革への挑戦 「東急建設グループ技術展 2021」を開催しました

ー環境配慮型建築 ZEB/ZEH、脱炭素への「木造・木質建築」、建物構見守りサービス等を紹介ー

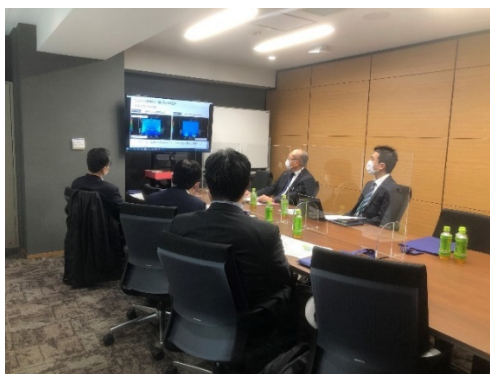
東急建設株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：寺田光宏、以下当社）は、11月9日（火）および10日（水）に「東急建設グループ技術展 2021」を開催し、多くのお客様にご参加いただきました。

本年の技術展は、昨年度からの新型コロナウイルス感染症の影響をふまえ、大勢のお客様が一堂に集まるのではなく、お客様を渋谷本社に個別にお招きして当社の技術をご紹介する対面形式、多数のお客様とリアルタイムにリモートでつながるウェビナー形式、開催期間中いつでも配信動画を視聴できるオンデマンド形式、の3つを組み合わせた新しいスタイルでの技術展開催と致しました。

今回の技術展では、【サステナブルな社会の実現と「建てる」の変革への挑戦】をテーマとし、建設時から維持管理に至るまで、当社がお客様にご提供できる技術をご紹介致しました。ウェビナー形式によるライブ配信では、当社の技術がどのようなメリットをお客様にご提供できるか、パンフレット等ではご紹介しきれない動画コンテンツにて、リアルタイムでご覧いただきました。

ウェビナー形式でのライブ配信では、以下の3つの技術をご紹介しました。

- ◆環境配慮型建築である ZEB/ZEH-M（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル及びネット・ゼロ・エネルギー・ハウス・マンション）と、お客様向けに開発した省エネシミュレーションツール及び ZEB 改修の事例をご紹介した「東急建設の環境建築」
- ◆脱炭素社会に向けた「木造・木質建築」に対する当社の取組と実績、中層木造建築の設計事例と木造遮音床等をご紹介した木造・木質建築【モクタス】
- ◆「建物構造の健康状態」を把握し、見える化を実現した構造見守りサービス【4D-Doctor】



お客様のご要望に応じて技術をご紹介

※対面形式の当日は、会場内の換気消毒、三密（密閉、密集、密着）回避などの新型コロナウイルス対策に十分に配慮致しました。

開催期間中、いつでも自由に視聴できるオンデマンド形式での動画配信では、以下 10 種のコンテンツをご紹介します。

1	食の安心・安全を提供する工場での HACCP 対応の手法と新開発「ローコスト・クリーンルームシステム」他の技術をご紹介します「食品工場」
2	社会課題である循環型社会の形成と地球環境問題の改善のため、二酸化炭素排出量を削減する、新開発の環境配慮型コンクリート【CELBIC】
3	物流建築の設計から施工までの一貫した品質管理や最適なソリューション提案手法並びに物流施設向けに当社が開発した【TQ-MIX 工法】、外装下地ユニット工法をご紹介します「物流施設への提案」
4	レジリエントな社会構築に向け、道路トンネルの点検作業の効率化・確実化を目指し、3D スキャナーを用いた変状自動検出機能を搭載したトンネル点検システム【iTOREL】
5	部分的にユニット化したプレキャスト部材を工場で作成し、現場での型枠・支保工を大幅に削減し工期短縮を実現する大規模ボックスカルバート構築工法【PPCa ボックスカルバート】
6	狭隘な場所で、鉄道高架橋柱部材の耐震補強を短期で効率的に施工する【CB パネル工法】
7	営業線の駅のホーム上で、重機を使わずに人力でホームドア基礎構造を施工できる【TC スラブ工法】
8	建設業界の働き方改革や、品質や安全性の向上を目指し、生産性の高い豊かな未来を実現する、東急建設の建設現場全体を ICT 化した施工システム「ICT 施工」
9	質の高い継続的な管理で、レジリエントでサステナブルな未来をお約束する鉄道構造物の戦略的維持管理システム「IAM（インフラアセットマネジメント）」
10	技術の開発や検証を行う技術研究所と、VISION 2030 に向けた長期経営計画”To zero, from zero.”に関する開発技術をご紹介します「技術研究所の紹介」

これらの紹介技術の一部は、来年の 1 月頃に常設展示サイトとして一般公開の予定です。

参考資料 [東急建設グループ技術展 2021 リーフレット](#) (こちらよりリンク)

当社は 3 つの提供価値（脱炭素、廃棄物ゼロ、防災・減災）を経営の根幹に据え、柔軟性、耐久性に優れたまちづくりへの貢献を通じ、働く人・生活する人の日々の暮らしや環境を守りながら、サステナブルな未来の創造を目指しています。

今回の技術展では、持続可能な開発目標に貢献する環境技術の開発や、人口減少という大きな流れの中、ストック型社会への移行を踏まえたリニューアル、維持・更新需要への対応力強化に注力した技術を紹介しました。また、労働力不足を背景とした施工の効率化、省力化に向けた建設生産システムの変革といった課題への取組みを積極的に発信しました。

「脅威」は、ものづくりや働き方を大きく変革させています。当社はコロナ禍がもたらした「脅威」を「機会」と捉え、良き事業パートナーとしてお客様の課題と親身に向き合い、これからも共に解決していくために努力、邁進してまいります。

【本件に関する問い合わせ先】

経営戦略本部 経営企画部 コーポレート・コミュニケーショングループ 西田

TEL 03-5466-5008 FAX 03-5466-5069 E-mail: webmaster@tokyu-cnst.co.jp

以上